

さっぽろ住まいのプラットフォームNPO法人設立フォーラム開催報告書

概要

名称 : さっぽろ住まいのプラットフォームNPO法人設立フォーラム
開催日 : 平成19年8月31日18時30分～20時30分
会場 : 札幌エルプラザ 4階中研修室
主催 : 特定非営利活動法人さっぽろ住まいのプラットフォーム
共催 : NPO法人高齢者支援センター、NPO法人シーズネット
NPO法人ユニバーサルデザイン推進協会、財団法人札幌市住宅管理公社
社団法人北海道建築士会札幌支部 社団法人北海道まちづくり促進協会、
社団法人北海道マンション管理組合連合会 バリアフリー・デザイン協議会
後援 : 北海道、札幌市、札幌商工会議所、住宅金融支援機構北海道支店、
社団法人北海道社会福祉士会、NPO法人北海道マンション管理士会
住まいの安心プラチナネット、都市環境デザイン会議北海道ブロック
参加人数 : 61名

本法人の法人設立を記念した今回のフォーラムは、計61名の参加を得てほぼ満席となり、活気にあふれる雰囲気の中で開催致しました。

第1部



芳村氏による基調講演の様子



真剣に耳を傾ける参加者の様子

開会の挨拶、札幌市長からの祝電を含む、全国12団体からのお祝いの言葉をご披露させて頂いた後、第1部として、3余年に渡り本法人(以下SSPF)のアドバイザーとして協働した芳村幸司氏(NPO法人ユニバーサルデザイン推進協会)による基調講演を行いました。講演のテーマは「協働で編み上げるプラットフォームの具体像」。

「協働」の本質を正しく共有することで、

- ・協働の公益的な生産性が高まること (co-production)
- ・「対等の関係」で成立すべきもの
- ・互いの価値観を認め合うことで、多様化する問題解決が図れること

等、「協働」という取り組みのスタンスを共有するための講演を頂きました。

(別紙、PPT資料参照)

第2部

ひきつづき行われた第2部については、山本理事長より、問題意識の提起から、事業試行、NPO法人としての自立・自主事業の始動とこれからの活動展開について、説明を行いました。(別紙、PPT資料参照)

後半のパネルディスカッションは、岩見太市氏(NPO法人シーズネット代表、SSPF顧問)による議論のコーディネートで実施されました。岩見氏には3余年にわたる「プラット



パネルディスカッションの様子

フォーム検討委員会の委員長」としてのご指導を頂いております。このほか、パネラーには、

- ・芳村幸司氏(NPO法人ユニバーサルデザイン協会、SSPF顧問)
- ・奥田龍人氏((社)北海道社会福祉士会会長、SSPF理事)
- ・山本明恵氏((社)北海道建築士会札幌支部、SSPF理事長)

をお迎えし、SSPFの意義・役割・事業上の留意点・可能性と課題について、

- ・「個」の住まい方を考える時代性、地域性
- ・収益性と公益性のバランス、透明性
- ・普及啓発の重要性、住教育の大事さ
- ・「協働」の事業性、生産性、実質性

などの面で、具体的事例を交えつつ意見交換を行いました。

会場からの質問・意見交換では、2件の質問(若年世代の住まい方について、障害者の住まいについて)の意見返答を行ったほか、検討委員会に委員としてご参加されたお立場から、エールと期待のお言葉も頂きました。

最後にコーディネーターからの総括と挨拶を行い、SSPFの活動発展を祈念するとともに、参加者への協働呼びかけと「名前の参画ではなく、実働での「協働」を要請したい」旨を表明し、フォーラムの締めくくりと致しました。

NPO法人さっぽろ住まいのプラットフォーム(SSPF)

- ・正会員: 12,000円
- ・準会員...事業を支援する市民(コーディネーター): 3,000円
- ・団体賛助会員...事業を支援する団体: 30,000円/口
- ・情報会員(個人)...情報取得のため入会する個人: 1,000円
- ・情報会員(団体)...情報取得のため入会する団体: 6,000円

事務所所在地

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目

3番地北一条ビル5階

さっぽろチャレンジオフィス(SCO)内

011-222-9800

<http://www.sapporo-sumai.or.jp/>

